

# 環境経営レポート

Vol. 11

2023年度



**P&W** ペーパーウェア株式会社

対象期間： 2022年11月～2023年10月

発行日： 2023年11月30日

## 1. 組織の概要

- ・ 事業所名及び代表者名  
ペーパーウェア株式会社  
代表取締役社長 靄岡 秀郎
- ・ 所在地  
本社： 東京都千代田区東神田 1-11-14  
千葉工場： 千葉県野田市西高野 278
- ・ 環境管理責任者および担当者連絡先  
環境管理責任者兼担当者  
管理本部長： 新井聡 TEL 03(5833)5050  
Eメール： s\_arai@paperware.co.jp  
URL： <http://www.paperware.co.jp/>
- ・ 事業活動の内容  
紙皿・紙トレイ等の紙製容器の製造及び販売

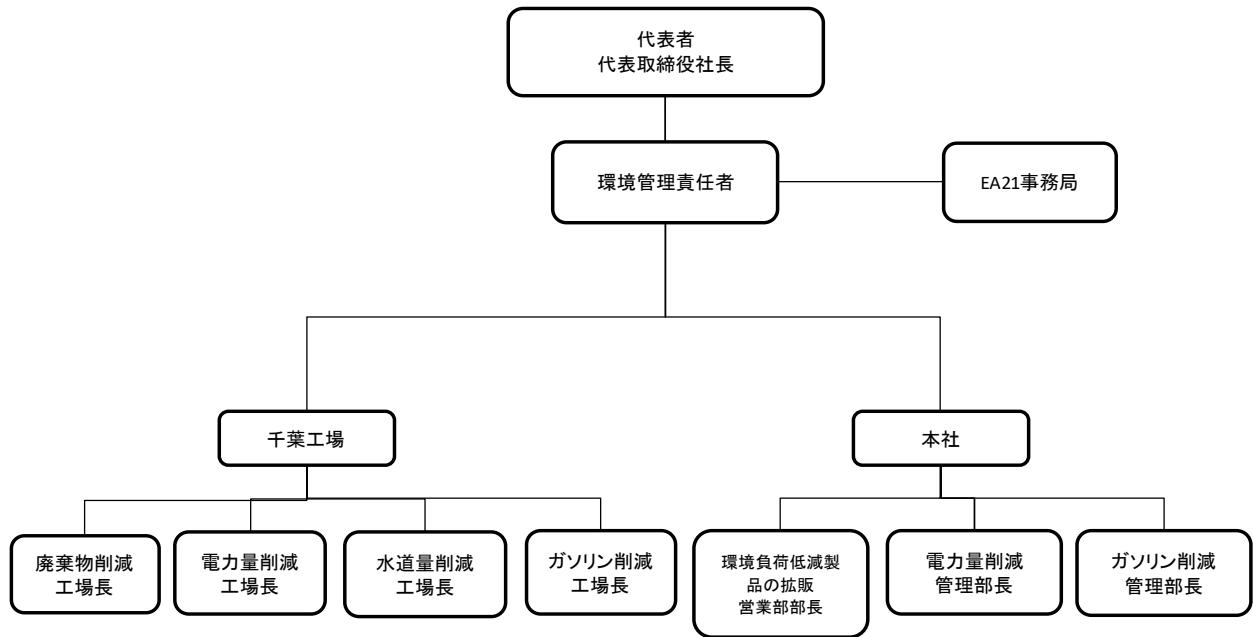
- ・ 事業の規模

	本社	千葉工場
従業員数	10名	78名
延床面積	207 m <sup>2</sup>	4,175 m <sup>2</sup>

## 2. 対象範囲

- ・ 登録組織名：ペーパーウェア株式会社
- ・ 対象事業所：  
本社： 東京都千代田区東神田 1-11-14  
千葉工場： 千葉県野田市西高野 278

### 3. エコアクション組織図および実施体制



(役割分担表)

	責務
代表者 代表取締役社長 靄岡 秀郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>環境管理責任者の任命</li> <li>環境経営方針の策定</li> <li>代表者による全体評価と見直し</li> <li>環境経営レポートの承認</li> <li>実施体制の全従業員への周知</li> </ul>
環境管理責任者 管理部長・新井 聡	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の把握／環境経営システムの構築と運用</li> <li>環境目標／環境活動実施計画書／実績表作成（含データ集計）と代表者への報告</li> <li>教育訓練実施指示</li> <li>環境経営システムの運用・維持状況監査</li> </ul>
EA21 事務局 管理部長 新井 聡	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境関連法規等の取りまとめと遵守評価実施</li> <li>環境経営レポート作成</li> <li>EA21 文書類の作成・維持・管理</li> </ul>
(EA21 実施担当)	
工場長	(工場) 廃棄物削減： ゴミの集計。報告 電力量削減： 電気使用量集計 報告 水道料削減： 水道量集計 報告 ガソリン適正管理： 使用量を月ごとに集計 報告 化学物質適正管理： マニュアルにて適正管理
管理部長	(本社) 電力量削減： 電気使用量集計 報告 ガソリン適正管理： 使用量を月ごとに集計 報告
営業部長	環境負荷低減製品の販売額を集計 報告

毎月、幹部会にて10分程度ミーティング。結果資料配布、各自報告等

## 4. 環境経営方針

### ペーパーウェア株式会社環境経営方針

#### <企業理念>

当社は、地球環境保全が世界共通の最重要課題のひとつであることを認識し、「取引先および社会一般から、より信頼される会社を目指す」という経営理念のもと、紙製容器の製造販売事業において環境との調和をはかりながら環境負荷の低減に努めます。

#### <行動方針>

1. 省エネルギー化を進めて、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化の防止に努めます。
2. 省資源で仕事を進めるように努め、廃棄物の発生量を低減します。
3. 節水を進め、排水量を低減します。
4. 化学物質の適正管理に努めます。
5. 環境に優しい（環境の改善に寄与する）製品の開発・拡販に努めます。
6. 環境関連法規等を遵守すると共に、内外に環境改善への活動を約束し、環境コミュニケーションを通じて公表します。

社内の要所に環境方針を掲示して、全従業員にエコアクション21環境経営システムを徹底します。

2019年11月1日

ペーパーウェア株式会社

代表取締役社長 轟岡 秀郎

## 5. 環境経営目標・環境経営目標の実績

### (1) 千葉工場

#### ① 中長期目標

目標項目	2022年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度
1. 二酸化炭素排出量削減				
①単位当たり使用電力 (g-CO2/枚)	1.636	基準年度維持	基準年度維持	基準年度維持
2. 廃棄物の削減				
①原紙抜き滓 (g/枚)	1.19	基準年度維持	基準年度維持	基準年度維持
②廃プロピレン (g/枚)	0.080	基準年度維持	基準年度維持	基準年度維持
3. 水使用量の削減 (m3)	678.9	基準年度維持	基準年度維持	基準年度維持
4. 化学物質使用量の適正管理	適正管理のため管理ルールを設け、遵守状況をチェックする。			

※ 基準年度（2022年度）は2021年11月～2022年10月

※ 基準年度のCO2排出係数は、令和3年度東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数0.441kg-CO2/kwhを使用しました。(2020年6月より買電先をエネサーブ(株)から東京電力エナジーパートナー(株)に変更)

#### ② 2023年度運用結果 (2022年11月～2023年10月)

目標項目	基準年	目標	実績	目標達成状況
1. 二酸化炭素排出量削減				
①単位当たり使用電力 (g-CO2/枚)	1.636	基準年維持	1.600	○
2. 廃棄物の削減				
①原紙抜き滓 (g/枚)	1.19	基準年維持	1.17	○
②廃プロピレン (g/枚)	0.080	基準年維持	0.077	○
3. 総排水量削減 (m3)	678.9	基準年維持	610.3	○
4. 化学物質使用量の適正管理	管理ルールを遵守し、適正管理されている。			○

○目標達成 △目標未達成ただし基準年比減 ×目標未達成

### (2) 本社

#### ① 中長期目標

目標項目	2022年 基準年度	2023年	2024年	2025年
1. 二酸化炭素排出量削減				
①電力 (Kg-CO2)	7,302	基準年維持	基準年維持	基準年維持
②ガソリン (Kg-CO2)	295	基準年維持	基準年維持	基準年維持
(計)	7,597	基準年維持	基準年維持	基準年維持
2. 水使用量の削減 (m <sup>3</sup> )	35.4	基準年維持	基準年維持	基準年維持
3. 環境対応製品販売 (千円)	※(A)	+5%	+10%	+15%

※ 基準年度（2022年度）は2021年11月～2022年10月

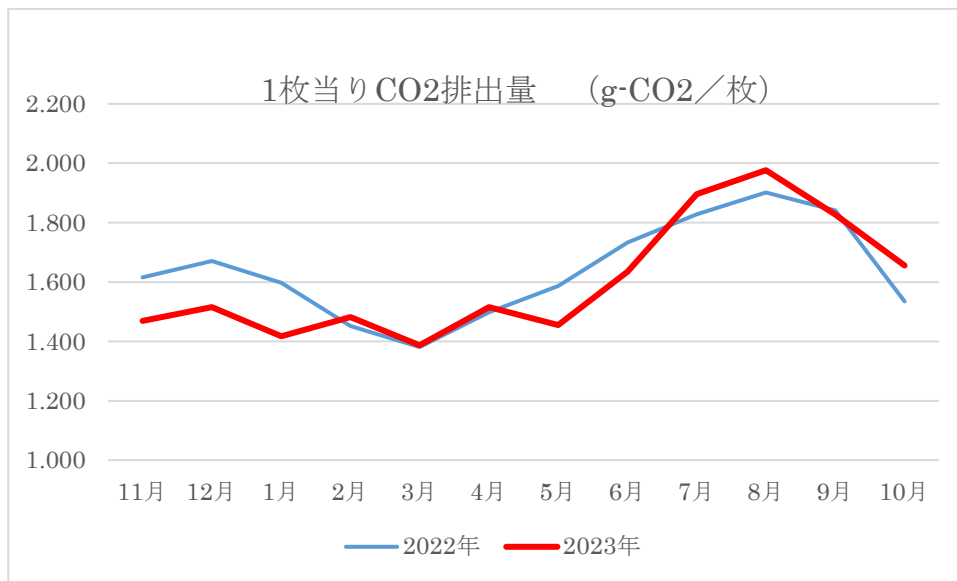
※ 基準年度のCO2排出係数は、令和3年度東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数

0.441kg-CO2/kwh を使用しました。

② 2023年度運用結果（2022年11月～2023年10月）

目標項目	基準年	目標	実績	目標達成状況
1. 二酸化炭素排出量削減				
①電力 (Kg-CO2)	7,302	基準年維持	7,067	○
②ガソリン (Kg-CO2)	295	基準年維持	321	×
2. 水使用量の削減 (m <sup>3</sup> )	35.4	基準年維持	40.3	×
3. 環境対応製品販売 (千円)	※(A)	※(A)*105%	※(A)*141.4%	○

○目標達成 △目標未達成ただし基準年比減（環境対応製品販売は増） ×目標未達成



従来より実施しているデマンド管理、生産機運転の効率化に努め、1枚当たりの消費電力は1.600g-CO2/枚と、目標達成しました。

(3) 2023年度CO2排出量

(Kg-CO2)	千葉工場	本社	合計
電力	699,778 (*)	7,228 (*)	707,006
ガソリン	420	321	741
軽油	608		608
LPG	93		93
合計	700,899	7,549	708,448

(\*)東京電力エナジーパートナー(株) R3年度実績 (2023年提出用)

調整後排出係数0.451kg-CO2/kwhを使用

↑

上記排出係数は、直近年度のものを使用。

## 6. 環境活動計画・取組結果と評価、次年度の取組内容

### (1) 工場

環境活動計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
<b>二酸化炭素排出量削減</b> (電気) ① 昼休みの消灯 ② エアコン冷房室温 28℃暖房 20℃ ③ クールビズ運動 ④ パソコン省エネ設定 ⑤ 省エネタイプ(LED)の照明灯へ更新 ⑥ 生産効率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昼休みの消灯は EA21 取組前より 100%実施。</li> <li>・ 事務所棟の室温管理は 100%実施。工場棟は夏期室温が 38℃に達することもあり、社員の健康のため冷房設定を 28℃以下で運用(室温は 28℃超)</li> <li>・ 第 2 棟の蛍光灯を 100%LED 化済。省エネ型コンプレッサー 4 台導入済。</li> <li>・ 受注が回復し、一日当たり稼働時間が増加し生産効率向上。単位当り排出量は 2.1%削減。</li> </ul>	継続して実施する
<b>二酸化炭素排出量削減</b> (ガソリン) ①エコドライブの徹底 ②燃費管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコドライブの励行。</li> <li>・ 使用記録票を作成し燃費を管理。</li> </ul>	継続して実施する
<b>廃棄物量削減</b> ① 両面コピーの推進 ② 廃棄物区分によりリサイクル効果の向上を図る ③ 紙送りピッチの見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報管理上問題ないものについては裏面を再コピー利用中</li> <li>・ 主要 3 社の原紙巾を 0.3%~0.5% 縮小。</li> </ul>	継続して実施する
<b>水道水の削減</b> ① 節水シールの貼り付けとポスター掲示 ② 節水弁の取り付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節水教育を継続中</li> <li>・ トイレ他、省エネ型に切替。</li> </ul>	継続して実施する
<b>化学物質適正管理</b> 使用量を台帳により適正管理する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用量を、台帳管理により適正に管理する。</li> </ul>	継続して実施する

(2) 本社

環境活動計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
<p><b>二酸化炭素排出量削減</b> (電気)</p> <p>① 空調温度の適正化 (冷房 28℃、暖房 20℃)</p> <p>② クールビズ運動</p> <p>③ パソコン省エネ設定</p> <p>④ 昼食時、不使用時の消灯徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昼休みの消灯は EA21 取組前より 100%実施。</li> <li>・ 室温管理は EA21 取組前より 100%実施。</li> <li>・ クールビズの実施 (5～9月)</li> <li>・ EA21 取組前より Energy Star 等の省エネプログラム内蔵の PC を使用。</li> <li>・ 新型コロナウイルス 5 類移行により窓開け換気を廃止⇒目標比 3.2%削減。</li> </ul>	<p>継続して実施する</p>
<p><b>二酸化炭素排出量削減</b> (ガソリン)</p> <p>①エコドライブの徹底</p> <p>②冷房の控えめ使用</p> <p>③燃費管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコドライブを励行。</li> <li>・ 使用記録票を作成し管理している。</li> </ul>	<p>継続して実施する</p>
<p><b>環境対応製品販売</b></p> <p>① 環境対応製品の開発</p> <p>環境対応製品の販売</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ FSC 認証・間伐材使用等の環境対応製品の拡販に努め、SDGs 等の環境意識が高まる中、目標比+39.7%。</li> </ul>	<p>FSC 認証製品の拡販に努める。</p>
<p><b>廃棄物量削減</b></p> <p>① 両面コピーの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報管理上問題ないものについては裏面を再コピー利用中</li> </ul>	<p>継続して実施する</p>
<p><b>水道水の削減</b></p> <p>① 節水シールの貼り付け</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節水教育を継続中</li> <li>・ トイレ他、省エネ型に切替。</li> </ul>	<p>継続して実施する</p>



## 8. 環境に優しい（環境の改善に寄与する）製品

### （1）ペーパーウェアが作る環境にやさしい紙製食器

紙の原料となる木材パルプは約 88%が植林によるものです。管理された木々が成長の段階で、多くの二酸化炭素を吸って温暖化対策に貢献しています。

さらに、製造段階で出る廃液（黒液）を燃料として活用。そして植林を行う、このサイクルを繰り返す事により、管理された循環資源として温暖化対策・枯渇する事のない資源として環境対策に貢献しています。



### （2）間伐材マーク使用認定の取得

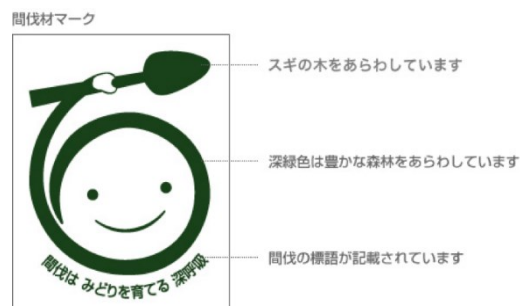
育ちすぎて過度に密集した森林は日当たりが悪くなり、結果すべての木が、細く弱い木になってしまいます。混みすぎた森林の立木を一部抜き取る事を間伐といいます。

間伐する事により、十分な日当たりが確保できるようになり、森林の成長に繋がります。

間伐の作業を行った際に、伐採される木材を間伐材といいます。森林を育てる際に伐採された間伐材の利用は、環境に優しいといえます。

間伐材マークとは、間伐や間伐材利用の重要性などを PR し、間伐材を用いた製品を表示する間伐材マークの適切な使用を通じて、間伐推進の普及啓発及び間伐材の利用促進と消費者の製品選択に資するものです。

間伐材マークに認定された製品には間伐材マークを使用する事ができ、製品・企業が森林整備・育成に対して貢献している事を、一般消費者に認知してもらう事が出来ます。



### (3) FSC®/COC認証の取得 (FSC®C126252)

2015年9月、当社は森林資源の保全に賛同し、持続可能な森林の利用と保護に努めるべく、FSC®(Forest Stewardship Council®：森林管理協議会) 森林認証を取得しました。

FSC®森林認証とは、独立した第三者機関によって作成された基準に照らし、森林の適切な管理を審査・認証する制度です。現在、全世界的に展開されており、最も信頼性が高いとされる森林認証制度です。

FSC®森林認証にはFM認証(森林管理)とCOC認証(製造・流通・加工過程の管理)の2種類がありますが、当社はCOC(Chain of Custody)流通管理認証を取得しております。

COC認証とは、FSC®認証された森林からの産物が製品へ加工されて流通する過程において、森林認証を取得していない森林から生産されるものと混じらないよう、適切な管理を行なって使用されていることを認証するものです

当社ではFSC®認証原紙を使用した紙皿、紙製食品容器の製造が可能です。

FSC 認証製品が出来るまで



責任ある森林管理  
のマーク



FM 認証 (森林管理認証)  
適切な管理がなされている森  
林を審査・認証



COC 認証 (加工流通過程の管理  
認証)  
認証された森林から生産され  
た木材を管理・加工



認証された原紙を元に製品化。  
FSC 認証製品へ

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、これらへの違反はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

適用関連法規等	適用される事項 (事業活動、施設、物質等)	遵守状況の確認・評価
浄化槽法	千葉工場浄化槽	設置許可・法定点検 OK
廃棄物処理法	廃プラ等の産廃	委託契約等 OK
家電リサイクル法	廃棄時の家電リサイクル券	廃棄なし
容器包装リサイクル法	包装用パッケージフィルム	再商品化義務 OK
フロン排出抑制法	・ エアコン等のフロン漏洩確認 ・ フロン回収	・ 簡易点検・定期点検実施 記録の保管⇒OK ・ 廃棄時対応⇒廃棄なし
消防法	防火管理者選任、消防用設備点検	届け出、点検結果 OK

## 10. 代表者による全体評価と見直しの結果

(全体評価)

2023年度は、各種イベントの正常開催、テーマパーク入園者の増加などにより業務用分野で回復が見られた他、大口 OEM 先、ホームセンターや E コマース分野が好調に推移しました。

中期目標のメインである環境対応製品の開発・拡販では、F S C 製品の新規受注もあり、市場の環境意識が高まる中、目標比プラスとなりました。

当社の CO2 排出の殆どは工場で使用する電力です。受注回復により、一日当たり連続稼働時間が増加し生産効率が向上し、製品一枚あたりの CO2 排出量は目標比 2.1%削減しました。

一部の環境目標に未達はありますが、「環境にやさしい紙の食器・容器」メーカーである当社の主力製品と位置付ける環境配慮型製品の拡販にともない、環境コミュニケーションも図れてきております。

引き続き、全員参加の体制を更に浸透させ成果をあげていきます。

以上